

2022年度

アウトリーチ活動事例発表会

健康福祉審議会

2023/5/29

資料3-2

第2回 地域福祉・成年後見部会

別紙

「フシ高齢者 ～65歳未満の方への取組～」

1 世帯の状況



- 63歳 女性 単身世帯 区内の賃貸住宅に居住
- スーパーマーケットに勤務していたが、半年程前に職場で倒れて病院へ搬送された
- 退院後、在宅に戻るも体調不良は続き、退職貯金も底をつく
- 親族は第一人が都内に在住も、交流無く音信不通

家賃滞納により不動産管理会社が地区の民生委員に相談
民生委員からアウトリーチチームへ相談が入る。

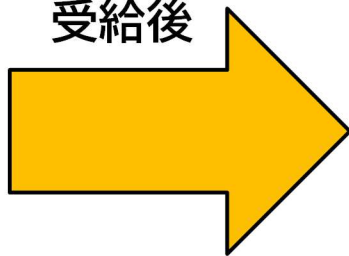
2 生活保護の申請

近所に住む友人が食料の援助をしていたが…



①まずは、生活維持のため生活保護を受給することに

受給後



②体調不良が続いている本人に受診を勧めるが拒否…



3 訪問時の不思議

民生委員やアウトリーチチームが訪問した際、いくつかの気になる点が…



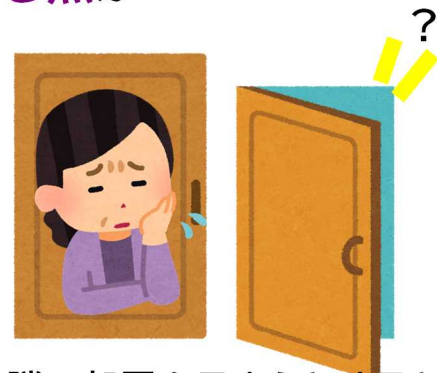
- 台所に2人分のお茶碗と箸



- 家に食料あるが雨の中買い物へ



- 食欲ないと話すが空の酒瓶があった



- 隣の部屋を見ようとするが嫌がる、隣の部屋に人の気配がする。



- 食料の減りが早い



- 訪問時、隣の部屋に布団が敷かれていた



「誰かいる気配を感じる…」「私たちが靈感あるのかしら？」

食事が撮れている証左か？と
思いながらも、**違和感**を感じていた。
親族である**弟**とは**未だ連絡取れず**。

4 アウトリーチ連絡会

生活保護の受給をはじめると、医療受診には拒否的。

65歳以下で介護保険の被保険者でないため、在宅でのサービスは難しい状況・・・

現状を打開するため・・・



検討の結果・・・



- 社協・包括・アウトリーチチーム等
関係機関で対応を検討

- 介護保険の「みなし2号」での
サービス利用を検討することに！
→但し、16疾病該当の確認が必要

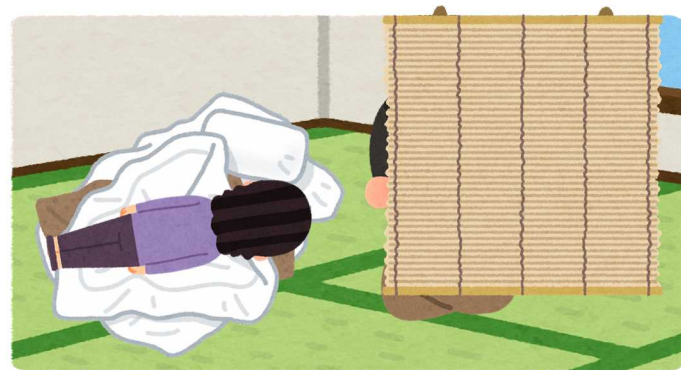
5 弟を発見

本人の体調を考慮し、**安否確認**のためアウトリーチチームを中心に**訪問を続けていた**がある日を境に**連絡が取れなくなってしまう**…



- 会えないが**不在箋**を回収した形跡はあり

検討の結果、
緊急対応として
室内を確認することに



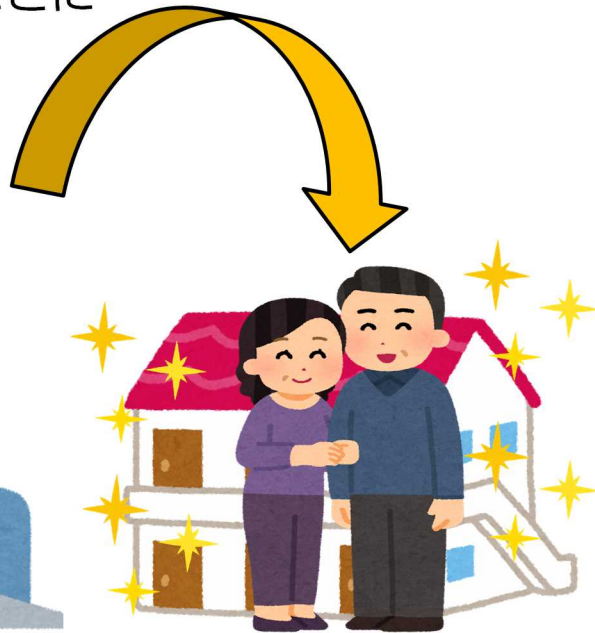
- 室内で**倒れた本人**を発見！
- そして**弟も室内**にいたのを発見！



- 本人はすぐに病院へ**救急搬送**される
- 弟は**失業**し、**半年前**から本人と同居していた本人からは「姿を見せないように」「隠れていて」と言われていた

6 在宅生活に戻って

救急搬送後、本人は一時入院するも、すぐに再び退院できることに…



- 本人、入院中に16疾病該当が判明し「みなし2号」で介護サービスを開始
※は導入を検討していたもの

- 弟、本人宅で同居できることとなり、生活保護を受給して就労支援を受けることに

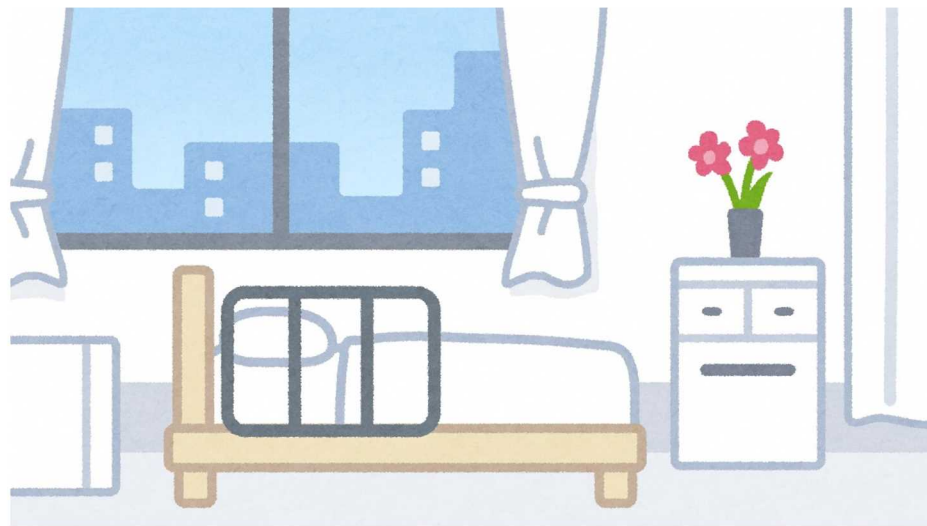
- 姉弟世帯として、新たな在宅生活の一步を踏み出すことができた！

7 その後の世帯

在宅生活の基盤が整った後の、この世帯の**その後**について…



●弟は残念ながら亡くなってしまった



●本人、病気が再発し、再度入院。
独居生活の継続は難しく、住居は引き払った

8 新型コロナ禍の中

65歳未満の世帯でも、失業や病気などの問題を抱えた方が多くいる…



- 特にコロナの影響で問題が外から見えにくくなっている…
- また抱える課題は複雑化・複合化している傾向がある…

- ①関係者の連携やネットワークの輪を広げていく
- ②根気よく見守りや支援を続ける
- ③連携やネットワークの線をより太くしていく

この3点を念頭にアウトリーチ活動を進めたいと考えています！



おわりに

ご清聴
ありがとうございました

